

『構造と機能がつながる神経解剖生理学』正誤表

このたびは『構造と機能がつながる神経解剖生理学』をご購入いただきまして誠にありがとうございます。本書の第1刷（2024年11月1日発行）に以下の誤りがございました。深くお詫び申し上げますとともに訂正いたします。

2025年4月21日作成 2025年12月18日更新

刷数	訂正箇所	誤	正	掲載
1	70頁 図1 図説 (BとCの 図説を入れ 替える)	B. 痛覚、温度感覚、原始的触圧覚 は、末梢神経の感覚線維が後角のニ ューロンに接続し、そこから伸びる 線維がすぐに対側に交叉して側索 を上行する。 C. 識別的触圧覚を伝える感覚線維 は末梢神経から脊髄に入ると後索 をそのまま上行する。	B. 識別的触圧覚を伝える感覚線維 は末梢神経から脊髄に入ると後索 をそのまま上行する。 C. 痛覚、温度感覚、原始的触圧覚 は、末梢神経の感覚線維が後角のニ ューロンに接続し、そこから伸びる 線維がすぐに対側に交叉して側索 を上行する。	2025/12/18
1	94頁 右段 1行目	とつながるループ上の伝導路…	とつながるループ状の伝導路…	2025/4/21
1	127頁 図2 頸動脈サイ フォン 「前大脳動 脈」を指す 引出線			2025/4/21
1	233頁 図3 言語に関わ る脳領域			2025/4/21



医学書院